みいけ

発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町二
電話3033番
編集兼発行人　園　攻

総力あげ悪法粉砕へ

緊迫の裡に総評臨時大会終る

警職法粉砕をめざす総評第十一回臨時大会は、十月二十四日東京九段会館で三十九組合から代議員二三二名、傍聴者など約千五百人が参加してひらかれ、十一月五日ごろ第四次統一行動として全単産が二十四時間ストをめざすゼネストを決行する方針をきめ「民主主義の危機にあたり国民に訴う」のアピールを発表、大会終了後国会提灯デモで反対闘争の第一歩をふみだした。

ゼネストで対決

大会の開会にあたり議長席についた原炭労委員長は「もはや、やれる、やれぬの議論は論外、各自の力と能力のすべてをこの闘いにつぎこむ以外に、戦後十三年営々ときずきあげたわれわれの組織をまもりぬく道はない。力を結集し、たたちに爆発的、決定的な行動にたつための大会である」と挨拶した。大会は社会党鈴木委員長、共産党宮本書記長のあいさつののち岩井事務局長から闘争方針の提案があり可決決定した。つづいて大会宣言を採択したが、大会で決定された闘争方針はつぎのとおりである。

1、全国各地域、各職場においてあらゆる機会に大小多数の集会デモ、その他創意をいかした行動を組織して、警職法反対の気運を全国にもりあげる。また、地方議会において警職法反対の決議をおこなうようはたらきかける。

2、十月二十五日全単産は休憩時間中の職場大会を開催し、警職法反対の決議をおこなう。

3、十月二十八日の第三次統一行動は、最低三十分以上の時限スト、または勤務時間中職場大会の内容をつよめる。東京においてはメーデーに準ずる規模の大集会をおこなう。

4、十一月五日ごろ第四次統一行動をおこなう。全単産は二十四時間ストを目指す実力行使をおこなうよう最大限の努力をする。また、この日を全国民の共同行動デーとするように国民会議に提唱する。

5、第五次以降の統一行動については、秋季年末闘争のなかで生産点における闘争を強化し、独占資本と対決し、民主団体との協力関係をつよめ単内闘を打倒する。なお、十月十八日を皮切りに行動を行っているが法案粉砕にいたるまで国会にデモ、座りこみ、提灯行列をおこなう。

6、この闘争による犠牲者は全組合員の拠金によって完全に救済出来るようにする。

7、院内外の闘争の発展に応じて社会党が総辞職の決意をもって闘い、その態勢に入った際は、無条件にこれを支持し国会を解散させ、単内闘を打倒するまで闘う。

警官の暴行報告

一方、警察の争議介入は日を追って悪質になっており、この大会で各産業の争議団が実状をつぎつぎと報告した。「すでに闘争二四〇日、苦小牧ではきのう四十数名、一昨日三十数名の重軽傷者がでている」とまず王子製紙から報告されインドシナ銀行労組、共同製本小菱印刷、第一電機精機、日産化学から生々しい実体が知らされた。また、海外からもこの大会にたいして世界労連、フランス労働総同盟、イタリヤ労働総同盟から〃平和と民主主義をまもり、ファシズムの脅威に反対するための皆さんの闘いに熱烈な連帯を表明する〃と、げき電がよせられている。

悪法葬れと大会は盛上った

警官配置に憤激

福岡大会に一万二千名

警職法改悪粉砕の旗印のもとに、社会党、労働団体、全日農、護憲連合などで組織された「警職法改悪反対国民会議」では二十五日、東京・大阪など五大都市を拠点に約三十府県で国民大会、抗議集会を開き気勢をあげた。

福岡県では福岡市警固公園で午後一時から一万二千の県内、県外の警職法改悪反対に立上った労働者学者、農民その他の団体があつまった。

福岡市外からは三池労組、大地評をはじめ北九州、筑豊地区、佐賀県評、全農、日農、佐敷組、国鉄などが選挙参加した。

大会終了後、警固公園より呉服町にむけて国民大行進を開始、道路はまったくこの大行進に示威するかのごとく警察官を配置し、監視していたのには参加者全員がおどろくと同時に憤激をこめたデモ行進はつづいた。

【写真は上・福岡大会の会場、下・市内をデモする三鉱労組の参加者】

警職法改悪反対県民大会に参加して

宮浦　山川　一　義

大会に参加して、まず私はいままでわれわれの行動に批判的な立場にたっていた多くの団体が参加していることと、大会の中でこれらの参加者が力強い意見をのべていたことにたいし心強いものを感じ私はこのようなあらゆる団体、国民の各階層が反対するのに、なぜ岸政権は強行成立を考えているのかと考えた。つぎの段階では新聞等に報道されているように防ちよう法を制定し、憲法を改正して再軍備を策していることは明らかだと思った。そのための組合運動弾圧であり、権力を強化するための警職法改悪でなくて何であろう。岸首相のブラウン記者にたいしての発言、川島幹事長の組合運動にたいする考え方など、数々の問題をみても明らかである。

また組合運動を弾圧するつもりはない暴力取締りの法律だといっているが、戦前の治安維持法のときも同じではなかった。また大会終了後のデモ行進の場合も必要以上の警官を出動させ警戒に当らせていたことに驚き、このような当局の態度にたいしますます闘いの意欲を深めた。このようなことを総合した場合、成立後の社会はどうなるかということを考えてみて暗澹たる気持になった。私はこれに反対するためにはいままでイデオロギーの相異はあったにしても警職法反対のため、ともに手を組んで立上がった各団体がこれを契機にこの問題だけに限らずあらゆる問題を統一して闘争できるよう努力して行かなくてはならないと思った。

私は警職法改悪反対闘争は統一と団結のもとに最後まで闘い抜かなければならないことを改めて認識し、新たな決意を深くした。デモ行進の途中でビルの窓から、また路上から声援をおくられた大衆とともに闘いましょうと声を大にして叫びたかった。

前進

三鉱連の態勢確立について

商業新聞を通じあるいは会社のマスコミなどにより、すでに三井鉱山は何らかの態度を決定し、三鉱連にたいし申入れをおこなうであろうということは既に予想されている。すでに三鉱労組においては緊急態勢の確立をおこなっている過程でもある。

たまたま三鉱連においては去る十月二十四日より三十日までにわたる間、全六山の代表者会議が招集された。こん回の代表者会議の招集目的は、中央ならびに各山元における情勢報告をお互いにおこない、そのなかから総合的な判断をたてて三鉱連全六山としての態勢をどう確立するかという点にあった。

まず、会社の動きであるが、所長会議または労務課長会議などをひんぱんに開催していろいろと対策を講じているもようであるが、現在のところ明確な結論にはいたっていないもようである。しかし近日中に方針が確立され、何らかの申入れが三鉱連にあるであろうということは一致した見方であるこれにたいして下部態勢の情勢は九北六山多少の違いはあるけれども、商業新聞あるいは会社の職制を通じてのマスコミは、相当組合員ならびに家族のあいだに浸透していると判断される。

それにたいして各組合ともそれぞれ情宣活動を強化し対策を樹立しつつあるが、かならずしも全六山が万全なる態勢であるとはいえない状態である。したがって、こん回の代表者会議の中心的論議はいかにして全六山の態勢を固め、会社側から提案されたときにどう対処して行くかの論議が交されたわけである。現在各山での会社の出方は、福利問題あるいは職場の労働条件、苦情処理にいたる諸問題をふくめて、従来よりはシビアになってきていることが各山の報告のなかで一致した。

このような態勢をわれわれがどうくい止めはね返すかについて、まず三鉱連全六山の足なみをそろえて態勢を確立することについて(1)早急に各山は組織の再点検をおこない万全の態勢を整えること(2)早急に臨時大会をひらき会社の再建案に対処するための闘う方針を決定し、直ちに中闘の設置を確立する(3)こん回の三鉱連の活動方針は会社の出方にどう対処するかの一点に絞り、それに全力を傾注する。

以上の三点が確認され、来る十七日を目途に大会が開催されることとなった。

この間に三鉱連大会議案内容を大衆討議におとし、全六山が大会を契機に完全な足なみをそろえた盤石なる態勢を確立して、断固闘うという方針を決意することとなった。

もちろん、この問題はただ単に三鉱連のみの問題ではなく、炭労の企反闘争とも関連をもち、したがって炭労中執との連繋を密にし三鉱連がたんに独走に終ることを避け全体的な視野にたって、この問題を処理することが確認され、情勢判断は中央執行部に一任することとなった。

炭労 24時間ストに突入

当日の行動は別途指示

総評は警職法改悪反対闘争のため、第四次統一行動を十一月五日ときめ各単産の実力行使を決定したが、炭労中闘は十一月五日一番方から各支部二十四時間一斉ストの指令を発した。

【闘争指標】警職法改悪反対抗議

【規模並びに方法】各支部二十四時間一斉スト

【突入期日】十一月五日一番方より

【保安要員】従来の慣行に従い各山元で協議決定せよ

【各支部の行動について】

1、各地区協（炭地共）支部は抗議大会の決議をもって両院議長、国家公安委員会に抗議電報を打電せよ。

2、抗議大会を主催する地区協（炭地共）支部は、大会終了後、他産業との交流を事前に関係単産と打合せ実施せよ。

三池でも直ちに労職共闘第七号指令を発し即応の態勢をとり、二十四時間ストに突入する。尚当日の抗議集会、動員などについては別途指示することになっている。

各単産の状況

なお、この日の各単産の状況はつぎのとおりである。

＝官公労＝

国公、公企　時間内一時間職場大会

国鉄　全国六百カ所運転関係三時間職場大会

全逓　全国百カ所（四七地区）午前八時三十分より二時間の職場大会

全電通　全国千八百カ所で二時間の職場大会

全専売　工場関係…一時間ないし二時間の職場大会。販売関係…一時間の職場大会

機労　午前八時より三時間ないし二時間三十分の職場大会

＝地公労＝

日教組　午後三時より休暇闘争、都市単位の抗議集会開催

高教組　日教組に同調

自治労　最低一時間以上の職場大会

都市交通　ラッシュ時の運転一割減

＝民間＝

全港湾　九州二十四時間スト、北海道半日スト、その他港湾関係時間外拒否

鉄鋼　スト権の完全掌握ができないためにスト権を掌握した単組は一時間の時限スト、スト権の掌握ができない単組は時間内一時間の職場大会

全金属　二十四時間スト

化学同盟　二十四時間スト

合化労連　半日スト

全鉱　二十四時間スト

日通　正午より二時間の職場大会

私鉄　始発より六時までの時限スト

全炭鉱　各番方一時間抗議集会

全印総連　二十四時間スト

＝国民大集会参加ルポ＝

ビルの窓に赤旗

昂奮と感激の名古屋大会

「生活と権利と教育を守り、日中関係を打開する国民大集会」は十月二十七日ひらかれたが、札幌、福岡、金沢の三班を起点に雪ダルマ式に中央集会に向けられ、各地から代表者が参加したが、三鉱労組からは広瀬教宣部員が参加、二十日に福岡を出発大集会に向かった。すでに中央集会は終ったが、沿道の県大会に出席しその感想が編集部へ送られてきた。以下は同氏のルポから……。

× × ×

二十二日於岡山、午後一時石井小学校で県民大会が開催された。約一千名で講堂は満員。二十三名岡山県代表が確認され、大行進はいよいよ大きくなった。

小雨ふる岡山をあとに第三百目の大阪に向う。各主要駅での出迎えが皆無なのに驚く、紡績、造船関係を有する労働者の都市でさえホームに人影がみえない。ここに労働運動の遅滞する問題点があるのではなかろうか。

…◈…午後九時二十分大阪着、目まぐるしい人波と点滅するネオンに目をみはって宿舎へ向う。二十三日午後一時中之島公園で関西ブロックの県民大会が開かれ千五百名が集る。駅頭は全くの人波だ、だがこの人たちとわれわれの間に何か間隙がありそうでもどかしさを感じた。しかし大会終了後繁華街のデモに移り、ビルディングの五階六階の窓に赤旗がひらめき、手を振る姿をみ、駅前広場の電通の六階の窓からスピーカにながれでる独立行動隊のうたや、投げられるテープの波と拍手をきき、全国の労働者は闘っているのだと知り自信を深めた。

…◈…二十四日、血まみれな闘いをつづけている名古屋では王子製紙春日井労組の現地で愛知県県民大会が開かれた。社宅の入口には行動隊、主婦会の人々が鉢巻姿で監視に当っていたが、両手を振って歓迎する。三池の闘いを思いうかべ苦労さんと声をかけ会場に向う。広島、岡山、大阪と県民大会に参加したが、この大会ほど感激が大きく、労働者一人一人は距離は離れていても、心の底から交流でき、ともに闘うと誓いあったことはなかった。大会後市中デモに移ったが、二時間余昂奮と感激にみちあふれ、汗にまみれた顔を拭きもせず二千名の大行進がつづけられた。

30分時限スト

各方昇坑時に實施

総評第三次統一行動にもとずき警職法改悪反対、最低賃金制の確立保安調査団入坑糧の確立の指標で炭労中闘は二十五日各方休憩時間を利用しての職場大会、つづいて二十八日には昇坑時三十分の時限ストの指令を発した。

これにもとづき二十五日は各職場で、分会長の下に職場大会をひらき、警職法改悪の抗議文を採択、二十八日には一斉に三十分の時限ストを敢行、職場大会をひらき、警職法改悪反対に立上った。（写真は職場大会でデモを行う四山ホーベル分会）